



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月5日

上場会社名 静甲株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6286 URL <https://www.seiko-co.com/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 鈴木 恵子  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 鈴木 武夫 TEL 054-366-1106  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	8,045	3.0	16	△87.9	64	△63.0	△51	—
2022年3月期第1四半期	7,807	24.4	138	—	173	416.9	83	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △62百万円 (-%) 2022年3月期第1四半期 66百万円 (17.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△8.12	—
2022年3月期第1四半期	13.00	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	25,144	13,708	54.5
2022年3月期	27,045	13,821	51.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 13,708百万円 2022年3月期 13,821百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	5.1	300	△46.4	350	△49.7	250	△66.7	39.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	6,483,323株	2022年3月期	6,483,323株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	187,606株	2022年3月期	187,606株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	6,295,717株	2022年3月期1Q	6,430,817株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症に対する各種政策の効果もあり、一部持ち直しの動きがみられますが、新たな変異株による感染再拡大や、世界情勢の変化による原材料価格の高騰、円安の急速な進行などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、「技術力のある営業集団、営業力のある技術集団」を目指し、各事業において施策を推進しております。

当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、産業機械事業で大型の液体充填ラインが増加したため、前年同期の実績を上回りました。一方、電機機器事業、車両関係事業は半導体不足などの影響を受け、前年同期の実績を下回りました。また冷間鍛造事業も前年同期の実績を下回りました。

これらの結果、売上高は、前年同期比3.0%増の80億4千5百万円となりました。

利益面では、冷間鍛造事業、電機機器事業、車両関係事業の減収により、経常利益は前年同期比63.0%減の6千4百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は5千1百万円（前年同期は8千3百万円の利益）となりました。

#### 〔産業機械事業〕

包装機械は、前年同期と比較して大型の液体充填ラインが増加したため、前年同期の実績を上回りました。また改造工事や保守メンテナンスは、前年同期は新型コロナウイルス感染症により、工事の延期や工場稼働率の低下などの影響を受けましたが、当第1四半期は上述の影響をほぼ受けず、前年同期の実績を上回りました。これらの結果、売上高は前年同期比66.9%増の24億9百万円、セグメント利益（営業利益）は、売上高の増加により、前年同期比661.4%増の2億4千4百万円となりました。

#### 〔冷間鍛造事業〕

電動工具部品は、主要納入先の在庫調整により、前年同期の実績を大きく下回りました。また自動車部品においても半導体不足の影響を受け、主要納入先にて生産調整を実施したため、前年同期の実績を下回りました。一方、産業機械部品は主要納入先の製品増産に伴う受注が堅調に推移し、前年同期の実績を上回りました。これらの結果、売上高は前年同期比20.7%減の4億6千6百万円、セグメント利益（営業利益）は、売上高の減少により、前年同期比67.0%減の3千9百万円となりました。

#### 〔電機機器事業〕

電機機器事業は、世界的な半導体不足やメーカーの納期遅延などの影響を受け、主力のFA関連機器は、自動車関連などの製造業向け設備案件が低調に推移したことにより、前年同期の実績を下回りました。また冷熱機器も前年同期のような大型案件がなかったことにより、前年同期の実績を下回りました。さらに設備機器、空調機器、空調周辺部材も前年同期の実績を下回りました。これらの結果、売上高は前年同期比19.8%減の11億2千8百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比78.8%減の2千6百万円となりました。

#### 〔車両関係事業〕

車両関係事業は、世界的な半導体不足の影響によるメーカーの生産遅延及びエンジンの不具合による生産停止の影響を受け、新車販売は前年同期の実績を下回りました。また中古車販売も新車販売の減少により下取車の入庫が減少したため、前年同期の実績を下回りました。サービス部門も前年同期の実績を下回りました。一方、輸入車販売は前年同期並みの実績となりました。これらの結果、売上高は前年同期比7.6%減の40億8百万円となりました。セグメント損失（営業損失）は7千万円（前年同期は6千1百万円の利益）となりました。

#### 〔不動産等賃貸事業〕

売上高は、前年同期比5.6%増の3千3百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比18.3%減の1千4百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は251億4千4百万円となり、前連結会計年度末と比べ19億1百万円減少いたしました。この内、流動資産は146億7千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億4千7百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少20億8千万円、電子記録債権の増加3億3千4百万円によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末とほぼ同額の104億6千9百万円となりました。

負債合計は114億3千5百万円となり、前連結会計年度末と比べ17億8千8百万円減少いたしました。これは主に、契約負債（流動負債のその他）の減少8億7千4百万円、支払手形及び買掛金の減少5億2千2百万円、賞与引当金の減少2億4千6百万円によるものであります。

純資産合計は137億8百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億1千3百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金の減少1億1百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期業績予想につきましては、2022年5月13日付当社「2022年3月期 決算短信」にて公表いたしました業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,559,922	5,479,533
受取手形、売掛金及び契約資産	5,107,298	4,972,613
電子記録債権	848,208	1,182,300
商品及び製品	2,122,709	1,987,638
仕掛品	411,469	497,565
原材料及び貯蔵品	32,903	44,347
その他	591,413	577,655
貸倒引当金	△51,627	△66,394
流動資産合計	16,622,298	14,675,260
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,365,733	3,340,439
土地	3,043,980	3,043,980
リース資産（純額）	12,410	11,321
建設仮勘定	9,078	46,404
その他（純額）	1,355,062	1,413,498
有形固定資産合計	7,786,265	7,855,643
無形固定資産	323,913	308,146
投資その他の資産		
投資有価証券	1,959,089	1,943,173
その他	363,090	370,804
貸倒引当金	△8,929	△8,429
投資その他の資産合計	2,313,250	2,305,548
固定資産合計	10,423,430	10,469,338
資産合計	27,045,729	25,144,598
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,237,535	3,714,855
電子記録債務	372,006	444,563
短期借入金	3,217,735	3,329,232
リース債務	4,937	4,937
未払法人税等	114,844	47,081
賞与引当金	530,936	284,420
製品保証引当金	32,517	35,260
その他	3,270,670	2,263,437
流動負債合計	11,781,183	10,123,789
固定負債		
長期借入金	588,096	544,056
リース債務	9,110	7,876
役員退職慰労引当金	290,136	182,201
退職給付に係る負債	165,965	167,884
資産除去債務	153,938	154,140
その他	235,378	255,751
固定負債合計	1,442,624	1,311,909
負債合計	13,223,808	11,435,698

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,151,288	3,151,288
利益剰余金	9,938,372	9,836,888
自己株式	△108,754	△108,754
株主資本合計	13,080,906	12,979,422
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	741,013	729,476
その他の包括利益累計額合計	741,013	729,476
純資産合計	13,821,920	13,708,899
負債純資産合計	27,045,729	25,144,598

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	7,807,805	8,045,807
売上原価	6,162,158	6,406,064
売上総利益	1,645,646	1,639,743
販売費及び一般管理費	1,507,306	1,623,073
営業利益	138,340	16,670
営業外収益		
受取利息	14	22
受取配当金	29,904	31,318
その他	19,248	20,384
営業外収益合計	49,167	51,724
営業外費用		
支払利息	3,500	3,492
その他	10,516	722
営業外費用合計	14,016	4,214
経常利益	173,491	64,180
特別利益		
固定資産売却益	1,220	1,578
投資有価証券売却益	27,900	—
特別利益合計	29,120	1,578
特別損失		
固定資産除却損	3,062	716
投資有価証券評価損	1,090	—
特別損失合計	4,153	716
税金等調整前四半期純利益	198,458	65,041
法人税等	114,848	116,160
四半期純利益又は四半期純損失(△)	83,610	△51,118
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	83,610	△51,118

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	83,610	△51,118
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,178	△11,536
その他の包括利益合計	△17,178	△11,536
四半期包括利益	66,432	△62,655
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	66,432	△62,655
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算方法)

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。